

JVMA通信

■ No.7 (平成25年1月号) ■

(発行元)

Japan Valve Manufacturers' Association

社団法人日本バルブ工業会

TEL: 03-3434-1811 FAX: 03-3436-4335

E-mail: info@j-valve.or.jp

URL: <http://www.j-valve.or.jp>



■ No.7 (平成25年1月号) 目次

■ 新年賀詞交歓会開催報告

・新年賀詞交換会の開催 1

■ 年頭のご挨拶

・田淵 宏政
社団法人日本バルブ工業会 会長 2

・田中 哲也
経済産業省 製造産業局 素形材産業室 室長 2

■ 今後の主な予定

・セミナー: 「シェールガスを含む今後のエネルギー市場と需給」 3

・展示会: 「Inter Aqua 2013」へ当会ブース出展! 3

・当会の法人移行に関するお知らせ 4

■ 関係官庁・団体からのお知らせ

・平成25年度予算・税制改正について 4

・下請かけこみ寺: 中小企業の取引上の悩み相談を相談員や弁護士が受付 4

■ 当会の広報活動について

・キッチン・バスの日記念
「第8回 台所・お風呂の川柳」表彰式 5

・締切迫る! 「第2回バルブフォト五七五コンテスト」
作品大募集中! 5

■ 工業会活動報告

(平成24年11月～平成25年1月) 6

■ 会員の動向 9

■ 新年賀詞交歓会開催報告

■ 新年賀詞交歓会の開催

開催日時: 平成25年1月15日(火) 12:30～14:00
開催場所: 銀行倶楽部 3階 大ホール
出席者数: 151名 (来賓: 42名、会員: 109名)



田淵会長による「会長挨拶」

去る1月15日(火)、当会の「新年賀詞交歓会」が東京・銀行倶楽部において開催された。(会長挨拶: 田淵宏政 会長/来賓代表挨拶: 田中哲也 氏(経済産業省製造産業局素形材産業室 室長)/乾杯: 中村政弘 副会長/中めめ: 中川 哲 副会長)

来賓を代表して田中素形材産業室長より、我が国のものづくりを支える素形材産業に対しては、経済対策を強化し、全面的に支援体制を整えていくとの挨拶があった。

また田淵会長からは、平成25年度に予定している当会の『一般社団法人』への移行に伴い、今後もより積極的な事業活動を展開させていくとの抱負が語られた。



歓談の様子



謹賀新年



■年頭のご挨拶



社団法人日本パルプ工業会 会長 田淵 宏政



平成 25 年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。
 当工業会会員の皆様方には平素から多大なるご協力賜り厚く御礼申し上げます。
 また、東日本大震災の復興が徐々に動き出した中、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興と皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、日本経済は、外需に振り回された一年であったような気がします。特に、領土問題に端を発した、日中間の関係悪化が反日デモや不買運動を激化させ、多くの企業がダメージを受けました。また、国内では少子高齢化が急速に進み、人口減少の局面に突入した中、個人消費を中心とした内需拡大が見込めない状況です。一方、電力供給についても不安が解消されず、企業へ与える影響は計り知れません。そういった中、日本の大手家電メーカーは、相次いで大幅な赤字となりました。本年も内外需ともに厳しい状況が続くことを覚悟しなければならぬと感じております。

一方、私どもパルプ業界を取り巻く環境は、素材価格の高騰が一段落しているものの、為替の不透明感はぬぐいきれません。また、頻りに議論されております日本の TPP への参加の是非については、その結果によっては当工業会にとって望まない方向へ進む可能性もあります。当工業会会員各位は、今にも増して世界経済の動向や日本の直面する少子高齢化による消費構造の大幅な変化に対して、その備えを充足させ、対応されていくことと思います。

当工業会の平成 25 年度活動方針は、一般社団法人への移行(本年 4 月 1 日付を予定)を受けて、工業会の組織体制を見直すとともに、より活発な事業活動を展開したいと考えております。また、昨年に引き続き、パルプ産業ビジョンの第 2 期アクションプランに基づき、技術・技能を活かした経営戦略の展開、人材育成、グローバル戦略の展開、環境対策等を中心に各種施策を実施し、より信頼され成長するパルプ産業を目指したいと考えております。併せて、パルプ産業の地位向上のため、「パルプフォト五七五コンテスト」や「ぱるちゃん」を活用した広告活動や各エリアにおける展示会(管工機材展等)への出展等を積極的に展開したいと思います。昨年 12 月 16 日に投票された衆議院選挙の結果、日本の舵取り役も決まり、厳しい中にも産業界が希望の持てる航海になるよう期待しているところです。

メーカーは『ものづくり』の意欲の塊です。今後とも社会構造の変化に対応した製品の提供により、社会に貢献できるよう努めてまいりたいと考えております。

おわりに、関係各位の倍旧のご指導ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、皆様の益々のご繁栄とご健勝を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



経済産業省 製造産業局 素形材産業室 室長 田中 哲也



平成25年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。
 さて、昨年を振り返りますと、様々な出来事がありましたが、とりわけ、「外交と経済」を意識させられる一年でした。御案内のとおり、日中関係の悪化は、我が国企業の収益を急速に悪化させ、「政冷経熱」といった一部の楽観的な期待を呆気なく打ち消しました。改めて、我が国企業が中国に強く依存している現実を実感させられました。我が国の素形材企業にとっても、中国は最も多くの企業が進出している国となっています。いわゆる、チャイナリスクというものがあるのは確かですが、我が国素形材企業がますます海外展開する中で、近接する一大市場である中国とは好むと好まざるとに拘わらず、我々も上手に付き合っていくべきを得ないのではないのでしょうか。

我が国の経済は、1980年代の4%台の実質成長率が今や1%以下の水準にまで低下しています。我が国は生産性の低下と生産人口の減少により、本格的な低成長時代を迎えています。また、自動車の国内販売台数に代表されるように、国内需要も縮小しています。このため、我が国自動車メーカーによる海外生産はますます拡大し、現地調達率もおおよそ7割に至っています。「系列」と言われた我が国のものづくりの特徴も古き良き時代の一コマとなりつつあります。増大する海外需要v.s.縮小する国内需要、新興国企業の急速な追い上げv.s.我が国企業の競争力

■年頭のご挨拶

の低下。我が国のものづくりを取り巻く構造的な変化は、まさにこれらに集約されると考えます。

国内市場のみに立脚していたこれまでのビジネスモデルは、もはや過去のものとなりつつあります。海外展開の進展は、国内空洞化を加速するという議論を常に惹起しがちです。しかし、座して企業が潰れれば、根こそぎ国内雇用が消滅することにつながりかねません。我が国企業の海外展開が進んでも、競争力の高い製品を安定的に提供するためには、国内に残る部分、あるいは、企業として戦略的に残すべき部分は必ずあると考えています。例えば、短納期で多品種変量生産を売りこしている素形材企業は海外に進出して生産してもあまりメリットがなく、そうした部分は我が国に残ることに比較優位があります。あるいは、新製品開発を支えるような、設計・試作の現場は引き続き国内に残す部分だと思えます。また、当然のことながら、国内でのものづくりの現場を残すためには、常に付加価値の高い現場である必要があります。

昨年は、当室が主催する「素形材産業海外ミッション」において、これまでのアジア中心の視察に加え、初めて南米ブラジルで実施しました。片道30時間以上の長旅にも拘わらず、素形材企業の経営者の方々を中心に20名弱の参加者を得て、参加者同士の結束も深まりました。素形材産業というと、国内に根差した、海外展開とは無縁な産業群を想像します。しかし、実際はそうではなく、急増する海外需要を取り込もうと、海外販路開拓、海外企業との提携、海外営業拠点の設立、海外生産など、様々な手段を通じて、我が国の素形材企業も奮闘しています。我が国素形材企業の大部分は中小・零細企業ではありますが、もし企業の持続的な発展を真剣に考えるのであれば、海外展開は必要不可欠です。海外展開の必要性をあれこれ議論する段階は既に過ぎ、今やどのような海外展開を行っていくべきか、その方策を議論する段階に来ています。

御案内のとおり、昨年11月から「新素形材産業ビジョン」の策定のための議論をしていますが、我が国の素形材産業の強み・弱みを冷徹に分析し、「競争力の強化」と「海外需要の取り込み」を中心に、今後の我が国素形材産業のあるべき姿を本年3月末までに示していきたいと考えています。素形材産業は、我が国のものづくりを支える基盤的な産業群であればこそ、しっかりと将来のビジョンを示して、それに向かって更なる発展を目指していきたいと考えています。今後とも関係者の方々の御支援・御協力を賜れば幸いです。

最後に、本年、巳年が皆様方にとって飛躍の年となることを祈念しています。



■今後の主な予定

■セミナー：「シェールガスを含む今後のエネルギー市場と需給」【主催：(社)日本パルプ工業会／国際委員会】

新たなエネルギー開発として注目を浴びているシェールガスやメタンハイドレード等のエネルギー市場について、当会国際委員会主催のセミナーを開催する。(定員：40名)

開催日時：平成25年2月22日(金) 14:00～15:40
 場 所：(東京タワー前) 機械振興会館
 講 師：独立行政法人
 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

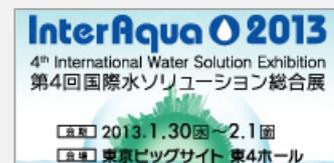
会員限定セミナー／参加費無料
 申込締切：2月8日(金)
 問合せ先：(社)日本パルプ工業会
 TEL 03-3434-1811



■展示会：「Inter Aqua 2013」へ当会ブース出展！【主催：ICS コンベンションデザイン】

昨年10月の「管工機材・設備総合展(名古屋)」に引き続き、「Inter Aqua 2013 第4回国際水ソリューション総合展」へ当会も出展し、パルプの重要性についてPRする。

展示会開催期日／場所：平成25年1月30日(水)～2月1日(金)／東京ビッグサイト
 【主催者ホームページ】 <http://www.interaqua.jp/>



■今後の主な予定

■当会の法人移行に関するお知らせ

平成25年4月1日より「**一般社団法人 日本バルブ工業会**」としてスタート予定！

当会では、かねてより内閣府公益認定等委員会へ「一般社団法人」への移行認可申請を行っていたが、平成25年1月18日付で同委員会より内閣総理大臣に対し、「認可の基準に適合すると認めるのが相当である」との答申書が出された。

今後は、この答申書を受けて移行認可書が交付される予定であり、本年4月1日からの移行に向けて引き続き準備を進めていく。

【当会ホームページでの本件に関するご案内】 <http://www.j-valve.or.jp/topics/130123.html>

■関係官庁・団体からのお知らせ

■平成25年度予算・税制改正について【経済産業省】

去る1月29日に平成25年度予算と税制が閣議決定された。なお、製造業に関連する施策は次のとおり。(平成24年度補正予算も有)その他の施策、税制改正については、下記の経済産業省ホームページ及び予算関連資料(PDF)でご確認を。

エネルギー使用合理化事業者支援補助金 (310億円)

工場・事業場等における省エネ効果等の高い設備の更新に対する支援

【補助率：単独事業 1/3 以内、連携事業 1/2 以内、補助上限 50 億円程度】

円高・エネルギー制約対策のための先端設備等投資促進事業 (平成24年度補正予算要求額 2,000億円)

産業競争力強化・空洞化防止に向け、円高やエネルギー制約の克服に資する最新設備・生産技術等の導入を支援するため、設備投資に係る費用の一部を補助 【補助率：中小企業 1/2 以内、大企業 1/3 以内、補助上限 120 億円】

ものづくり中小企業連携支援事業 (118.7億円)

ものづくり中小企業・小規模事業者や地域の研究機関が連携して行う研究開発等を支援

- ・研究開発：「ものづくり高度化法」の計画認定を受けた共同体。委託上限額は初年度 4 千 5 百万円以内
- ・模倣品対策、試作・販路開拓等：中小企業・小規模事業者等を含む共同体。補助上限額は初年度 2 千万円(補助率 2/3)
- ・実証研究等：中小企業・小規模事業者と大学等との産学連携体。補助上限額は初年度 2 千万円～3 千万円(補助率 2/3)

【経済産業省資料(予算関連)】 ※当会ホームページ上より資料(PDF)入手可能

(15ヶ月予算及び25年度税制改正の概要(製造業関係)) http://www.j-valve.or.jp/info/medi_budget1_130128.pdf

(予算関係PR資料) http://www.j-valve.or.jp/info/medi_budget2_130128.pdf

【経済産業省HP】 (平成24年度経済産業省関連補正予算案の概要) <http://www.meti.go.jp/main/yosan2012/index.html>

■下請かけこみ寺：中小企業の取引上の悩み相談を相談員や弁護士が受付【(財)全国中小企業取引振興協会】

全国48箇所を設置された「下請かけこみ寺」では、中小企業が抱える取引上の様々な悩み相談への対応や、裁判外紛争解決手続(ADR)による迅速なトラブルの解決を実施している。

本事業は、中小企業庁の委託事業として(財)全国中小企業取引振興協会が実施しているもので、相談は無料。

匿名でも中小企業の取引に関する相談に応じているので、お気軽にお問い合わせを。

【相談事例】 支払日を過ぎても代金を支払ってくれない / 原材料が高騰しているのに単価引き上げに応じられない /

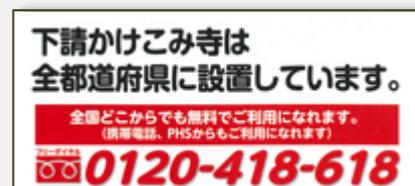
客先からキャンセルされたので部品が必要なくなったと言って返品された...など

【裁判外紛争解決手続(ADR)】 ～裁判よりも迅速、簡便に解決するための調停～

(国内の企業間取引について生じた紛争が対象)

- ・紛争や当事者間の和解の調停を無料で実施
- ・裁判とは異なり非公開で実施されるため、当事者間以外には秘密が守られる

【(財)全国中小企業取引振興協会HP】 <http://www.zenkyo.or.jp/kakekomi/>



■ 当会の広報活動について

■ キッチン・バスの日記念「第8回 台所・お風呂の川柳」表彰式【主催：キッチン・バス工業会】
～日本バルブ工業会賞として当会濱崎水栓部会長がプレゼンターとして記念品贈呈～

昨年11月2日(金)、キッチン・バス工業会主催の「第8回 台所・お風呂の川柳」表彰式が浜松町東京會館で開催され、『日本バルブ工業会賞』のプレゼンターとして、当会を代表し水栓部会長(TOTO(株) 濱崎雅幸氏)が受賞者へ記念品を贈呈した。

本表彰式は、キッチン・バス工業会が台所やお風呂での様々な思い出や出来事を川柳として募集し、毎年11月2日の「キッチン・バスの日」に優秀作品を表彰しているもの。表彰の中には協賛団体賞として『日本バルブ工業会賞』が設けられており、例年当会事務局および水栓部会長が入賞作品の選定に協力している。

先の表彰式では、『日本バルブ工業会賞』の副賞として、バルブのイメージキャラクターである“ばるちゃん”のぬいぐるみや、展示会用に製作したノベルティーグッズなどが濱崎水栓部会長から受賞者に贈呈され、“ばるちゃん”をPRできる良い機会となった。(キッチン・バス工業会より協賛団体賞として賞金を授与)

なお、今回の優秀作品の一部は次のとおり。

台所やお風呂にまつわる家族とのふれあいや、家庭内でのエピソードなどがコミカルに謳われている。思わず深くうなずきたくなる人も多いのでは？



受賞者へ“ばるちゃん”のぬいぐるみを手渡される濱崎水栓部会長(右)

「第8回 台所・お風呂の川柳」優秀作品の抜粋 (主催:キッチン・バス工業会)

日本バルブ工業会賞	台所 居ないと手伝え 居ると邪魔	ペンネーム: 五人おやじ (兵庫県)
キッチン・バス大賞	息子寝て 「母」から「私」に もどる風呂	ペンネーム: すばるママ (滋賀県)
準キッチン・バス大賞	ばあちゃんの なぜだか旨い 握り飯	ペンネーム: 一匹狼 (大阪府)
選者特別賞 -三遊亭金遊賞-	キッチンに あけたことない ドアがある	ペンネーム: 一人暮らし2年目 (兵庫県)
選者特別賞 -山遊亭金太郎賞-	錆びないね 湯船と流し 妻の口	ペンネーム: エイ (東京都)
選者特別賞 -神田松鯉賞-	つらいとき 日本人には 風呂がある	ペンネーム: ストレス解消 (東京都)

その他の入選作品は、こちらで！

【キッチン・バス工業会ホームページ】 <http://www.kitchen-bath.jp/public/senryu/2012.11.02/2012.senkouHTML>

■ 締切迫る！「第2回 バルブフォト五七五コンテスト」作品大募集中！【主催：(社)日本バルブ工業会】

～ 作品のご応募は 平成 25 年 2 月 8 日(金)までに ～

“バルブ”が私たちの生活の中でどのように役立っているか、写真と川柳で表現していただく「バルブフォト五七五コンテスト」。第2回目の募集となる今回、いよいよ締切間近に！(当初の応募締切日1月31日を2月8日まで延長)

入賞者には賞金とバルブのイメージキャラクター “ばるちゃん” のぬいぐるみ、記念の盾を贈呈。入賞作品は3月下旬頃に当会ホームページで公開予定。

【応募要領 (当会ホームページ)】

<http://www.j-valve.or.jp/valvphoto575/apply.html>



そして一句 (五七五)!

陰ながら私たちの生活を支えている“バルブ”... そんな縁の下の力持ち“バルブ”を『写真』とそれにふさわしい『川柳』にまとめて、ぜひご応募を!

■工業会活動報告（平成24年11月～平成25年1月）

説明会

○安全保障貿易管理制度説明会（適格説明会）

24-12-17(月) 於:機械振興会館

出席者:35名



説明会の様子 →

[テーマ]

- ・安全保障貿易管理について
- ・法令順守のポイント

[講師]

- ・経済産業省 安全保障貿易審査課
上席安全保障貿易審査官 長谷 亮輔 氏
- ・経済産業省 安全保障貿易検査官室
安全保障貿易検査官 石丸 策基 氏

幹部会

・第163回

24-11-20(火) 於:大阪・北新地「湯木」

出席者:6名

主要審議事項:

- (1) 諮問会議運営規程(案)及び諮問委員選定について
- (2) 平成24年度工業会事業活動中間報告
- (3) 平成24年度「JV 賞」表彰候補者の推薦について

バルブ部会

◎幹事会

24-12-03(月) 於:銀行倶楽部

出席者:9名

部会審議事項の事前協議を行った。

◎部会

24-12-03(月) 於:銀行倶楽部

出席者:14名

主要審議事項

- (1) 平成24年度新技術研究開発プロジェクト採択テーマについて
- (2) 第29回管工機材・設備総合展出席結果報告
- (3) 60周年記念事業実行委員会の構成委員と式典概要について
- (4) 各分科会、WGの活動報告
- (5) 若手社員研修会の結果報告
- (6) JV賞候補者の推薦について

◎工業用分科会

○電力弁G会議

24-12-06(木) 於:機械振興会館

出席者:9名

主要審議事項:

- (1) 原発停止後の電力関連施設に関する市場の低迷について

- (2) 海外の発電所建設の今後の見通しについて

○鑄鍛鋼弁G/ステンレス・ボール弁G会議

24-11-22(木) 於:大阪鐵鋼會館

出席者:10名

主要審議事項:

- (1) 原発停止後の電力関連施設に関する市場の低迷について
- (2) アセアンの石油やLNG、北米のシェールガスなどのエネルギー一開発市場の今後の動向について
- (3) 中国の反日運動による日本製の不買運動の影響について

◎建築用分科会

24-11-29(木) 於:大阪鐵鋼會館

出席者:10名

主要審議事項:

- (1) 関西地区の大型建設案件の減少について
- (2) 建築業界の新規案件の減少について

◎産業用弁分科会

○彦根産業用弁G、水道用弁G、船用弁G合同会議

24-12-11(火) 於:やす井

出席者:11名

- (1) 3部会活動報告
- (2) その他、情報交換

25-01-29(火) 於:彦根支部会議室

出席者:8名

- (1) 3部会活動報告
- (2) 平成24年度下期及び通期生産高について
- (3) その他

自動弁部会

○見学会

24-11-06(火)

見学先:東京大学宇宙線研究所 スーパーカミオカンデ

参加者:17名

◎部会

24-11-06(火) 於:オークスカナルパークホテル富山

出席者:15名

主要審議事項

- (1) 半日見学会(Shop Tour)の実施計画について
- (2) 平成24年度新技術研究開発プロジェクト採択テーマについて
- (3) 第29回管工機材・設備総合展出席結果報告
- (4) 60周年記念事業実行委員会の構成委員と式典概要について
- (5) 若手社員研修会の結果報告
- (6) 会員退会の報告

水栓部会

◎幹事会

25-01-30(水) 於:機械振興会館

出席者:9名

部会審議事項の事前協議を行った。

◎部会

25-01-30(水) 於:機械振興会館

出席者:24名

主要審議事項:

- (1) 見学会等収支報告
- (2) 平成 25 年度水栓部会事業計画(案)及び予算(案)について
- (3) 給水栓標準化小委員会審議報告について
- (4) 止水栓標準化小委員会審議報告について
- (5) 保証小委員会審議報告について
- (6) 技術小委員会審議報告について
- (7) 節湯WG審議報告について
- (8) InterAqua 2013 (2013.1/30～2/1:東京ビッグサイト)について
- (9) 独禁法等コンプライアンスについて

◎給水栓標準化小委員会

24-11-21(水) 於:機械振興会館

出席者: 14 名

24-12-19(水) 於:機械振興会館

出席者: 13 名

25-01-25(金) 於:トラストスペース

出席者: 12 名

主要審議事項:

- (1) 省エネ法及び低炭素化の促進に関する法律への対応
- (2) 長住協の水栓金具標準化対応について
- (3) POMの浸出性能について
- (4) JIS B 2061 改正について
- (5) 節湯 JIS 化について

◎止水栓標準化小委員会

24-11-7(水) 於:機械振興会館

出席者: 8 名

主要審議事項:

- (1) JWVA 規格改正原案の確認
- (2) 給水用具の施行と維持管理の手引きの改正について

◎保証小委員会

24-12-21(金) 於:機械振興会館

出席者: 9 名

25-01-31(木) 於:機械振興会館

出席者: 8 名

主要審議事項:

- (1) めっきはがれによる事故防止について
- (2) やけど防止の啓発について
- (3) 漏水点検の啓発について
- (4) 事故情報の共有化について
- (5) 水栓関連 HP の見直し

◎技術小委員会

24-11-26(月) 於:機械振興会館

出席者: 12 名

24-12-20(木) 於:機械振興会館

出席者: 10 名

25-01-24(木) 於:機械振興会館

出席者: 12 名

主要審議事項:

- (1) 海外材料メーカー・水栓メーカーの情報・調査について
- (2) 新技術研究開発プロジェクトについて

(3) POMの浸出性能について

◎節湯WG

24-11-22(木) 於:LIXIL:GINZA

出席者: 10 名

24-12-20(木) 於:LIXIL:GINZA

出席者: 10 名

25-01-24(木) 於:LIXIL:GINZA

出席者: 10 名

主要審議事項:

- (1) 省エネ法及び低炭素化の促進に関する法律への対応
- (2) BL 委員会の活動報告
- (3) 節湯 JIS 化に係る試験方法の検討

ビジョン委員会

24-11-06(火) 於:機械振興会館

出席者: 9 名

主要審議事項:

- (1) 「バルブ産業ビジョン追補版」アクションプランの進捗状況について
- (2) 懸賞論文実施について
- (3) 人財育成案の検討

広報委員会

24-12-14(金) 於:機械振興会館

出席者: 6 名

主要審議事項:

- (1) 委員交代について
- (2) 展示会タスクチーム活動報告
- (3) バルブ史の年表作成について
- (4) 第 2 回バルブフォト五七五コンテストについて
- (5) 懸賞論文実施案の検討
- (6) バルブの日新聞企画について
- (7) 当会創立 60 周年用記念グッズ制作の検討

◎バルブ展示会タスクチーム

24-11-26(月) 於:機械振興会館

出席者: 6 名

主要審議事項:

- (1) 名古屋管工機材展での反省点の検証と改善案の検討
- (2) InterAqua2013 でのブースレイアウト修正について
- (3) 今後の展示会展業について

技術委員会

24-12-20(木) 於:機械振興会館

出席者: 8 名

主要審議事項:

- (1) 関連 JIS の改正進捗報告
- (2) コンパクトフランジの取扱いについて
- (3) 技術研修会について
- (4) 環境 WG 活動報告
- (5) バルブ工学会について
- (6) 次回見学会等について

◎環境WG

24-12-13(木) 於:機械振興会館

出席者:10名

主要審議事項:

- (1) 環境アセスメント評価ツール・アセスメントチェックシートの実証について
- (2) 平成24年度新技術研究開発プロジェクト採択報告
- (3) 平成25年度及び平成26年度の活動方針について
- (4) 工業会HP掲載用の環境情報について

国際委員会

24-12-07(金) 於:機械振興会館

出席者:6名

- (1) 平成25年2月開催のセミナーについて
- (2) 海外主要国のバルブ工業会の調査について

バルブ技報編集委員会

25-01-18(金) 於:機械振興会館

出席者:7名

- (1) 通巻第70号制作状況について
- (2) 通巻第80号の特集について

調節弁規格作成委員会

○調節弁規格作成委員会WG

24-11-13(火) 於:機械振興会館

出席者:8名

○調節弁規格作成委員会WG

25-01-22(火) 於:機械振興会館

出席者:6名

主要審議事項:

- (1) 国際投票について
- (2) LOPについて
- (3) JIS B 2005-8-4 和訳案の検討

ISO/TC153/SC1 国内対策委員会

24-11-05(月) 於:機械振興会館

出席者:8名

主要審議事項:

- (1) フランス国際会議報告
- (2) 各WGの活動状況報告
- (3) 国際投票について
- (4) 国際標準化協議会について

フランジレスバルブ標準化委員会

◎委員会

24-11-12(月) 於:機械振興会館

出席者:12名

主要審議事項:

- (1) JIS 原案内容の検討について
- (2) 平成24年度成果報告書とりまとめ方針について

◎分科会

25-01-09(水) 於:機械振興会館

参加者:12名

主要審議事項:

- (1) JIS 原案及び解説案内容の検討について
- (2) 平成24年度成果報告書とりまとめ内容について

支部だより

東京支部

○役員会

24-11-19(月) 於:ホテル日航福岡

出席者:20名

主要審議事項:

- (1) 東京支部夏期研修会収支報告について
- (2) 東京支部秋期会員総集会収支報告について
- (3) 平成24年(1~8月)バルブの生産および輸出入状況について
- (4) 会員の種別変更について(正会員→賛助会員:(有)志田工務所(H25.4/1付予定))
- (5) 諮問会議委員の選定等について
- (6) 社名変更について(旧:タイコフローコントロールジャパン(株)→新:ペンテアバルブアンドコントロールジャパン(株))

東海支部

○新年祝賀会

25-01-24(木) 於:岐阜グランドホテル

参加者:12名

○懇親ゴルフ大会

25-01-24(木) 於:岐阜関カントリー倶楽部

参加者:10名

優勝:木下 博之 氏(兼工業株)

彦根支部

○滋賀バルブ協同組合・日本バルブ工業会彦根支部合同忘年会

24-12-11(火) 於:やす井

参加者:16名

○新年会(滋賀バルブ協同組合との共催)

25-01-23(水) 於:やす井

参加者:15名

近畿支部

○新年互礼会

25-01-25(金) 於:大阪新阪急ホテル

参加者:53名

○役員会

24-11-27(火) 於:ふぐ好 北新地店

出席者:11名

主要審議事項:

- (1) 幹部会審議報告について
- (2) 諮問会議委員選定について
- (3) 近畿支部秋季会員集会収支報告について



■会員の動向

社名変更

平成24年10月

新社名: ペンテェア バルブアンドコントロールジャパン(株)
(旧社名) タイコ フローコントロールジャパン(株)

移 転

・文化貿易工業(株) 本社事務所

新住所(平成25年2月4日より)

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-1-1

TEL(計装営業部) 03-3556-2411

(総括部) 03-3556-2412

(外国営業部) 03-3556-2414

(経理部・総務部) 03-3556-2420

・(株)日阪製作所 東京支店

新住所(平成25年2月18日より)

〒104-0031 東京都中央区京橋1-19-8

京橋OMビル

TEL(バルブ事業本部) 03-5250-0770

■ ■ ■ 会員企業の皆様へ ■ ■ ■

～(社)日本バルブ工業会事務局からのお願い～

地震、台風などの災害による会社社屋への被害や、製品の製造作業中に死傷者がでる事故等が発生した場合には、速やかに当会宛にご報告をお願いいたします。

(報告の目安)

- ・従業員、作業員等に死傷者が生じた災害または事故
- ・会社の生産活動に支障を及ぼした災害または事故

災害、事故によっては、国が必要な対策を講じなければならない場合もあるため、報告の速報性が重要となります。(災害、事故報告の第一報は、分かっている範囲の内容で結構ですので、まずは第一報を速やかにご報告ください。)

提出された「事故、災害報告書」については、内容を確認の上、所管官庁(経済産業省)へ報告いたしますが、当会及び経済産業省が本報告書をもとに対外的に公表することはありません。

※「災害、事故報告書」の様式は[当会HP](#)「会員専用サイト」の[事務局からのお願い](#)をご参照。

(会員専用サイトへは、各社のユーザーIDとパスワードの入力要)



平成25年1月31日発行 ■■■ JVMA 通信 No.7 ■■■

(発行元) 社団法人 日本バルブ工業会

TEL: 03-3434-1811 FAX: 03-3436-4335

E-mail: info@j-valve.or.jp

